

小中一貫教育だより

義務教育9年間を一体的に捉え、めざす児童生徒像を共有し、学習面・生活面を系統化した教育活動

シリーズ「今年度の小中一貫教育推進」

四街道西中学校区の取組

学習指導

夏季休業中に算数・数学科、理科、英語科、保健体育科の教職員が集まり、小中学校の学習指導について共通理解事項を確認しました。

英語科オンライン参観

小学校の教員と6年生児童が中学校の英語の授業をオンラインで参観しました。学習面の小中学校の接続が円滑に行えるよう、中学校区で連携して取り組んでいます。



ICTの活用

各教科で積極的にICT機器の活用を進めています。「Microsoft Teams」を使っ
てのリモートでの集会活動や、「オクリンク(学習支援ソフト)」での意見の交換、「Pow
er point」を活用した発表等を行うなど、タブレット端末の操作に慣れてきています。

また、四街道西中学校で作成した、生徒による「給食」や「黙働清掃」、「あいさつ
運動」に関する説明動画を、小学生が視聴しました。児童は、静かに整然と行われる
給食の配膳や掃除を見て、驚くとともに、中学校生活への期待を膨らませていました。



算数・数学の授業

11月2日(水)に、四街道西中学校の数学科の教員が、
大日小学校6年生3クラスで数学の授業を行いました。

授業内容は「中学校で習う数の世界を知ろう」。中学校
で新たに学習する「負の数」の概念を学ぶ内容でした。

身の回りでマイナスが使われているところを探す活動で、
児童は「冷凍庫の表示」「アイスのパッケージ」「気温」
「天気予報」等々、多くの「マイナス」を見付けていました。
また、班ごとに「マイナス」を使ったトランプゲームを行うな
ど、「負の数」について楽しみながら学んでいました。

最後には、授業を担当した教員から児童へ「来年、四街
道西中学校で待っています。」との言葉がかけられました。

このように、教職員の交流を行うことで、中学校生活へ
の不安解消の一助としています。

